

## 専門学校及び大学の部

### 優良賞

#### 「めんそ〜れで幸せのサイクル」

琉球大学 観光産業科学部 観光科学科 3年次 大城 真依

みなさんは、沖縄のことが好きですか。私は沖縄が大好きです。

では、沖縄の魅力は一体なんだと思いますか。海、自然、うちなーんちゅ、街並み、観光地、食べ物、気候の温暖さ、ゆったりとした時間の流れ、リラックスできる雰囲気……。

挙げていくと本当にたくさん魅力が沖縄にはあります。実際、沖縄を訪れる観光客のうち、約8割はリピーターの方々です。沖縄の観光において、リピーターはとても重要な役割を担っています。しかし、初めて沖縄を訪れる人、つまりビギナーの方々に、また沖縄に行きたい、と思ってもらわなければ、更なるリピーター獲得には繋がりません。そう思ってもらうために必要なことは、ありきたりの観光地ではなく、地域ごとの魅力と、うちなーんちゅのおもてなしの心だと考えます。ただ観光地巡りをするだけだったら、何度訪れたとしても、毎回同じことの繰り返しです。そうではなく、現地の人々との交流やその時期ならではの行事や景色があるからこそ、その時にしか味わえない、一生に一度の旅行になるのではないのでしょうか。そして、その舞台は、作られたテーマパークなどではなく、沖縄の魅力あふれる地域です。沖縄は日本の文化と、中国をはじめとする海外の文化の融合という、非常に珍しい独特の文化を持っています。日本として存在しながらも、琉球王国時代の文化が色濃く残る、沖縄に来ないと味わえない貴重な資源です。それらを活かした観光がもっと活性化できれば、地域の伝統も守ることができ、観光客も沖縄の文化の体験ができ

ます。観光客が来てくれることで、自分たちが持つ文化や伝統の素晴らしさ、かけがえのなさに改めて気づかされることもあると思います。このような地域主体の観光は、「着地型観光」と呼ばれ、近年注目を集めています。

具体的には、地域で行われている年中行事やイベントに、地域住民と観光客が一緒になって楽しめるような取り組みをしていくことが考えられます。沖縄には大綱引きやハーリーなどの大きな行事もありますし、漁や市場など、生活に密着した場所を訪れることで、観光客は自分の住む場所とは全く違った生活、つまり非日常を味わうことができます。エイサーや道じゅねーなど、他の地域にはない面白い文化もたくさんあります。沖縄は文化体験もできるし豊かな自然もあり、マリンスポーツなどのアクティビティもできる、万能な観光地、「マルチリゾート」であるということを、もっと多くの人に知ってもらいたいと思います。

また、私が更に提案したいのは、過去の遺産や文化を守っていくことはもちろんですが、現代のトレンドを取り入れた、観光の発信をしていかななくてはならないということです。例としては、アプリケーションを利用した新しい観光の取り組みです。最近ではほとんどの人がスマートフォンや 아이폰、タブレットを持っており、様々なアプリを使っています。このような携帯のアプリを使ったユニークな取り組みがあります。

南風原町では、「南風原町観光ナビ」というアプリが提供されています。これは南風原町の観光名所や遺産をガイドするナビゲーションアプリで、スマートフォンに無料でダウンロードして使うことができます。登録されているスポットが近くにあると、画面上にスポット名と現在地からの距離が表示され、更に徒歩や車でのルート案内もしてくれるので、アプリのガイドを頼りに南風原を散策することができます。また、南風原町で開催されるイベントなどでスタン

プラリーが開催されるので、参加して特産品などをゲットできたり、南風原町のキャラクター「はえるん」が使用されているフォトフレームで写真を撮ることができたりと、南風原町の魅力がたくさん詰まったアプリとなっています。この取り組みは、自分たちで自分たちの地域の良さを発信していく、とてもいい例だと思います。

また、他のアプリの中には、自分で写した写真を加工し、まるでカメラマンが撮ったかのような素敵な写真を撮ることができるアプリも多くあります。そして共通の写真加工アプリを使ってフォトコンテストを行えば、その写真を見た人が、「自分も沖縄に行ってみたいな」と思ってくれるかもしれません。コンテストの結果を **Facebook** などの SNS で発表することも考えられます。「百聞は一見にしかず」ということわざがあるように、視覚的に沖縄の良さを発信していくことはとても効果的だと考えられます。更に、このようなアプリを多言語化して情報をこまめに更新することにより、個人旅行で沖縄を訪れた外国人観光客の方が自分で沖縄の地域を歩き回ることができるようになるため、より深く沖縄を楽しんでもらうことができます。

これからの沖縄観光において重要なことは、地域ごとの魅力の発掘、保存と、それらを時代に合った方法を用いて、自分たちで伝えていくという積極的な姿勢だと思います。

そして最後に、私たち沖縄県民が、「沖縄に来てくれてありがとう」という。おもてなしの心を持つことが、最も重要なことだと思います。数ある観光地の中から、わざわざ沖縄を選んで来てくれているのです。沖縄を好きになってくれた人々がまた沖縄を訪れ、自分の住むまちへ帰った時に沖縄の良さを伝えることで、更にビギナーの方々も加わっていくことが理想です。そしてそのサイクルの中に、沖縄県民が積極的に関わっていくことが、これからの沖縄観光に

は不可欠だと思います。観光は観光客だけが主人公ではありません。観光客を受け入れる側も、沖縄観光の幸せのサイクルを作り上げる一員です。沖縄には万国津梁という言葉がありますが、その言葉の通り、観光を通して、沖縄はアジアを始めとする世界の架け橋になれるのです。地域の人も観光客の人も、みんなと一緒に沖縄を好きになろうというめんそ〜れの心を持ち、沖縄のファンを一緒に増やしていきませんか。